




令和2年度生徒指導集中対策，生徒指導実践指定校及び不登校等未然防止推進校

「指定校における取組事例」

学校名	府中町立府中南小学校	校長	小田原 かおり	担当者名	岡本 美紀
取組事例名		『主体性を育む児童会活動～挨拶運動キャンペーンを通して～』			
生徒指導に係る連携体制の確立		カウンセリング・マインドをもった教職員と児童生徒との対話	○	主体的な活動を通じた絆づくり	
取組における育てたい資質・能力					
○主体性，コミュニケーション能力					
取組のねらい					
○児童会執行部が中心となり，児童発信の挨拶運動キャンペーンを展開することを通じて，進んで挨拶をしようとする態度を育てると共に主体性やコミュニケーション能力を育成する。					
取組の具体的内容			取組の創意工夫		
<p>1 執行部宣言「こんな南小にしたい」という思いを旧執行部から新執行部が引き継ぐ。(4月～6月)</p> <p>2 執行部が代表委員会にて「挨拶運動キャンペーン」取組の詳細を知らせる。(9月)</p> <p>3 執行部が南小のめざす挨拶モデル動画を作成し，全学級に視聴してもらう。 〈挨拶ポイント〉自分から進んで！ ・目を合わす・会釈を返す・声を出す(コロナ禍に配慮)</p> <p>4 挨拶運動キャンペーンを実施。(12月～2月) ・7:45から8:00に割り当てられた学年の児童が門や玄関など5か所に立ち，登校してくる児童に挨拶をする取組。(立つ児童は，執行部作成挨拶プレートを着用) ・執行部⇒各委員会⇒第5学年⇒第4学年⇒第3学年(1週間毎)</p> <p>5 挨拶運動キャンペーンの振り返りを行い，代表委員会にて内容を報告し，来年度執行部へ思いをつなぐ。</p>			<p>・執行部宣言「こんな南小にしたい」を校内に掲示し，児童の意識化を図ることができた。</p>  <p>・児童発案の「動画」案を採用したり，執行部が出演したりすることでより主体的に取り組むことができた。</p>  <p>・キャンペーン中は校門や玄関の5か所に児童が立ち積極的に挨拶を行い，挨拶の意識向上を図ることができた。</p> 		
取組の成果と課題					
<p>○児童発信の挨拶運動を展開して「これまでの南っこが築いた伝統を受け継ぎつつ，今の自分達らしさを出してよりよい南小を創っていきたい」という強い思いを持って取り組むことができた。</p> <p>○挨拶における生活向上アンケート「自分から挨拶をしている。」の肯定的評価は，6月90.8%，11月91.6%，2月93.6%と徐々に増加し，高水準を維持できた。</p> <p>△挨拶運動は一定の効果は上げたが，校内や地域で「誰にでも」という挨拶ができる児童が十分とはいえないので，今回のような児童主体の活動を継続していく。</p>					